

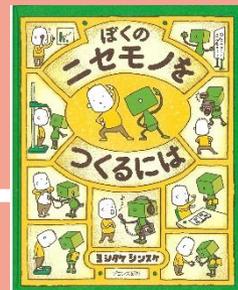
実践ライブラリー：高等部 国語科 「マイデータブックを作ろう」

自分のこと、あまり知らないなあ。
友達はどんな風に思っているのかな？知りたいな。

- 自己理解を進めて、自分のことを知ってほしい。
- 自分が感じたこと、友達が思ったことを共有することで、お互いの考え方の相違点に気づかせたい。

① 絵本を読んで考えよう

「ぼくのニセモノをつくるには」(ヨシタケシンスケ著)を読み聞かせし、主人公について話し合う活動を行った。主人公はどのような人物なのか、絵本に出てくるテーマに沿って考えた。



② テーマに沿って、自分のことを書いてみよう、話してみよう。

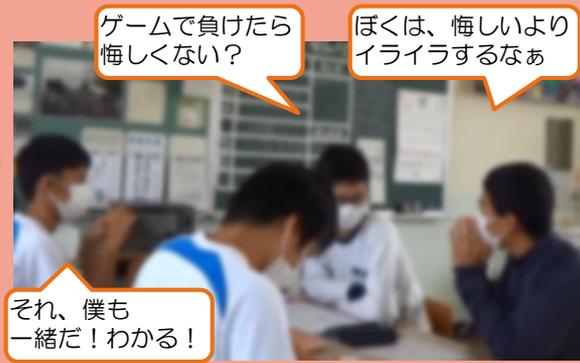
- 自分のプロフィール
- 自分の気持ち
- 好きなこと、嫌いなこと
- 未来について
- できること、できないこと
- 他の人から見た自分
- ・・・など

テーマに沿って、自分のことを付箋に書く。また、小グループで自分のことを話し、自分との違いを実感させた。

例えば…
自分の気持ちとその場面を考える活動



絵本のページを元に、悲しいとき、困ったとき、恥ずかしいときはどんな時か、考えました。



自分が書いたものを持ち寄り、話し合いをしました。同じ気持ちでも、感じる場面が違うことがわかったり、自分の思いを素直に伝え、共感してもらったりすることができました。

③ 書いてきたものを本にしよう。

書いてきたものをまとめ、表紙とあとがき(今の自分について、未来の自分への手紙)をつけて、本に仕上げた。活動を通して、今現在の自分について理解を促し、他者との調整を少しずつできるようになっていった。

